

指導と評価の年間指導計画 現代の国語

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
現代の国語	1 年	2	現代の国語 (東京書籍)	

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう【表現力】 3 課題意識を強く持ち、グループ内で協力してその実践を通して考察をすることで生まれた多様な読みを受容し視野を広めましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 5 授業で学習した内容と日常生活(身近な言語表現など)を関連づけ、言葉を意識して自ら学ぶ意欲を高めましょう。		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、実社会において理解したり表現するために必要な語彙の量を増やし、修辞や婉曲的な表現をふまえて、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	思考・判断・表現 ・自分の考えを的確に伝えるため、構成や展開を考え、表現の仕方を工夫している。 ・文章の種類を踏まえて、叙述を基に、要旨や要点を把握している。	主体的に学習に取り組む態度 言葉や文章に主体的に関わり、思いや考えを深めたり広めたりしながら、学習に取り組もうとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・定期考査 ・発表や話し合いなどの活動 ・小テスト	・課題への取り組み ・小テスト ・課題考査

現代の国語 「内容のまとまり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能
 思：思考・判断・表現
 主：主体的に学習に取り組む態度

A 話すこと・聞くこと		
学習活動	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
探究(Ⅰ) 探究(Ⅱ)	知 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、表現の特徴を踏まえ、正確さ、わかりやすさに配慮して、言葉を使おうとしている。 知 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 思 目的や場に応じて、適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討している。 主 学習課題に沿って積極的に情報収集しようとしている。	・発表、ペアワーク ・図書館やインターネット等を活用し情報を収集する。
B 書くこと		
学習活動	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
探究(Ⅲ) 探究(Ⅳ)	知 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 知 個別の情報と一般化された情報との関係について理解しようとしている。 思 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。 主 学習課題に沿って整理した情報を正確に伝えようとしている。	・資料の作成 ・作成した資料を相互評価する
C 読むこと		
学習活動	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
評論(Ⅰ) 評論(Ⅱ) 評論(Ⅲ) 評論(Ⅳ) 評論(Ⅴ) 評論(Ⅵ)	知 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 知 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 思 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 思 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 主 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	・小テスト ・要約文を書く ・意見文を書く ・趣旨を把握する
【備考】状況により内容を変更することがある。		

指導と評価の年間指導計画 言語文化

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
言語文化	1 年	4	精選 言語文化 (東京書籍)	

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
言葉による見方・考え方	対象の言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。また、発表する場面では、共に学習するメンバーに理解できるように表現を工夫しましょう。【知の基盤となる力】【自律の精神】【読解力】【表現力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 授業と同様に家庭学習も大切にする。学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけようとしている。
主な評価方法	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・小テスト ・定期考査	・行動の観察 ・授業・予習ノート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題等への取り組み ・授業・予習ノート ・小テスト

言語文化 「内容のまとまり」に基づく年間指導計画

知：知識・技能 **思**：思考・判断・表現 **主**：主体的に学習に取り組む態度

A 書くこと		
学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
現代文分野 (随筆・小説・詩歌)	知 ・文化の継承発展を言葉が支えていることを理解している。 ・常用漢字の読み書きに慣れ、文章の中で使うことができる。 ・言語文化理解のための読書の意義について理解を深められる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 思 ・知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫できる。 主 ・進んで筆者のものの見方や考え方を捉えようとしている。	・本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動。
古典分野 (古文入門・随筆・歌物語・日記・和歌・作物語と軍記物語・俳諧・漢文入門・寓話・詩文・史話・思想)	知 ・言語文化に特徴的な語句の量を増し、背景について理解を深めながら、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・我が国の言語文化と外国の言語文化との関係を理解できる。 ・古典に親しむために、特有の表現などについて理解できる。 ・作品の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 思 ・我が国の言語文化に特有の表現について理解できる。 ・文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 ・歴史的な文体の変化について理解を深めることができる。 主 ・自ら進んで古典作品について理解を深めようとしている。	・類似の主題を扱った古文同士、漢文同士、古文と漢文の文章、あるいは古典と現代の文章を読み比べることによって、言語文化の継承や発展に気づき、類似点や相違点を探り、批評的な見方と表現力を養う活動。
B 読むこと		
現代文分野 (随筆・小説・詩歌)	知 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 思 ・作品における考え方を捉え、内容の解釈に繋げられる。 ・文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 主 ・作品を通じ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持とうとしている。	・我が国の伝統や文化について書かれた解説や随筆などを読み、言語文化について論述したり発表したりする活動。 ・作品の内容や形式について、批評したり議論したりする活動。
古典分野 (古文入門・随筆・歌物語・日記・和歌・作物語と軍記物語・俳諧・漢文入門・寓話・詩文・史話・思想)	知 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 思 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 主 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持とうとしている。	・異なる時代に成立した作品を読み比べ、論じたり批評したりする活動。 ・我が国に継承されてきた詩歌や芸能の題材、内容、表現の技法などについて調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりする活動。

指導と評価の年間指導計画 地理総合

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
地理総合	1年	2	高等学校 新地理総合 (帝国書院)	新詳高等地図(帝国書院) 自作 授業プリント

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
社会的事象の 地理的な 見方・考え方	社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けて考える。		
主な 学習活動	1 講義型の授業では、講義内容を自分なりの解釈を踏まえてノートやプリントに、自分なりに整理し、まとめる。【読解力】・【自律の精神】 2 授業の中で思考・考察が求められた場合には、結論に至る根拠に基づく過程を重視し、答えをすぐに求めない。【批判的・論理的思考力】・【表現力】・【進取の精神】 3 地図への書き込みなどの作業的な取り組みについて、単純作業に陥らないよう、地図・図表などから読み取りを強く意識して取り組む。【批判的・論理的思考力】・【友愛の精神】 4 日頃の生活と授業で得た知識を関連づけ、より実社会を強く感じ、自らの実生活や体験を意識して意欲を高める。【社会で生きる知識・技能】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる事象の意味や意義や、世界の生活文化の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にしらべまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を意欲的に追究、解決しようとする態度で、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、世界の諸地域や日本の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めることができている。
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み(内容面) ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題等への取り組み

地理総合 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界	知 各地図における利用法やその特徴に関する知識を身につけ、これらを用いて作図することができる。 思 描かれた地図からの確に事象を読み取り、その事象背景にある特徴について思考するとともに、その内容を適切な方法で表現することができる。 主 地図の活用に積極的に取り組み、地図を通して自分なりの発見を目指すとともに、その発見に対して、なぜどうしてなのかを追求しようとしている。	单元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 ・地球儀と各地図の比較 ・地形図の読み取り ・主題図の作成とその特徴 ・GISの活用 ・主題図統計資料の読取り
2 学期	B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解 (2) 地球的課題と国際協力	知 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことについて具体性をもって理解している。 思 世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 主 世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性や地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ・小地形と地形図の利用 ・大気の大循環 ・ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフの読取り ・産業の特徴 ・人口、都市問題 ・環境問題
3 学期	C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災 (2) 生活圏の調査と地域の展望	知 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 思 自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 主 自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ・ハザードマップや新旧地形図の活用 全体を通して、それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 歴史総合

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
歴史総合	1年	2	高等学校 歴史総合 (山川出版社)	新詳 歴史総合(浜島書店) 自作 授業プリント

科目の目標	社会的諸事象の、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを次の通り目指す。		
社会的事象の 歴史的な 見方・考え方	社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりして考える。		
主な 学習活動	1 講義型の授業では、講義内容を自分なりの解釈を踏まえてノートやプリントに、自分なりに整理し、まとめる。【読解力】・【自律の精神】 2 授業の中で思考・考察が求められた場合には、結論に至る根拠に基づく過程を重視し、答えをすぐに求めない。【批判的・論理的思考力】・【表現力】・【進取の精神】 3 プリントへの書き込みなどの作業的な取り組みについて、単純作業に陥らないよう、資料・地図などから読み取りを強く意識して取り組む。【批判的・論理的思考力】・【友愛の精神】 4 日頃の生活と授業で得た知識を関連づけ、より実社会を強く感じ、自らの実生活や体験を意識して意欲を高める。【社会で生きる知識・技能】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点 及び 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	私達の生活や身近に見られる諸事象をもとに、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史につながっていることを理解している。教科書や資料などを用いて、日本や世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身に付けている。	日本や世界の歴史に関わる諸事象の意味や意義、周辺地域との関連などを多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決に向けて構想する力や、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論する力を身に付けている。	歴史総合を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について主体的に理解を深めようとしている。日本や世界の歴史に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深めている。
主な 評価方法	・定期考査 ・授業中の発問に対する回答	・課題への取り組み(内容面) ・話し合いなどの活動 ・定期考査	・授業状況の観察 ・授業ノート ・課題への取り組み

歴史総合 年間指導計画

[知]: 知識・技能 [思]: 思考・判断・表現 [主]: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学期	・諸地域世界の形成, 歴史の扉, 1 近代化と私たち ・近代化への問い ・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・明治維新と日本の立憲体制	[知] 諸地域世界の形成を学び, 日本と世界の歴史を理解し, 身近な砂糖などを題材に日本と世界のつながりを理解している。 [思] 諸地域世界の形成を学び, 日本と世界の歴史を考え, 身近な砂糖などを題材に日本の歴史や日本と世界のつながりを読み取り, その内容を多面的・多角的に考察している。 [主] 諸地域世界の形成を学び, 日本と世界の歴史を主体的に追究し, 身近な砂糖などを題材に日本の歴史や日本と世界のつながりについて自分なりの考えを身につけて, その構造や歴史的意義を見いだそうとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1～4)を行う。 ・日本や世界の歴史地図の理解 ・日本や世界の歴史のつながりの理解 ・日本や世界の資料を読み, グループで話し合い考察する。
2 学期	・帝国主義の展開とアジア 2 国際秩序の変化や大衆化と私達 ・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦 ・戦後国際秩序と日本の改革	[知] 第1次・第2次の産業革命の概要と日本への影響, 帝国主義の展開と植民地の形成, 2度の世界大戦の概要と日本や世界への影響を理解している。 [思] 第1次・第2次の産業革命の意義と日本への影響, 帝国主義の展開と植民地の形成, 2度の世界大戦の概要と日本や世界への影響について, その内容を多面的・多角的に考察している。 [主] 第1次・第2次の産業革命の意義と日本への影響, 帝国主義の展開と植民地の形成, 2度の世界大戦の概要と日本や世界への影響について, その構造や歴史的意義を見いだそうとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 ・各時代の日本地図や世界地図の理解 ・歴史のなかの日本や世界の文化の多様性の理解 ・日本や世界の各時代と現在との違いについて話し合い考察する
3 学期	3 グローバル化と私達 ・冷戦と世界経済 ・グローバル化する世界と課題 ・現代的な諸課題の形成と展望	[知] 第2次世界大戦後の日本と世界について理解し, 歴史的つながりや世界各地との関連を理解している。 [思] 第2次世界大戦後の日本と世界について, その内容や影響について多面的・多角的に考察している。 [主] 第2次世界大戦後の日本と世界について, 興味関心を持つとともに, 自分なりの考えを身につけてその構造や歴史的意義を見いだそうとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 ・第2次世界大戦後の日本と世界について理解を深める。 ・現在の課題について, 話し合いを行い考察する
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 I

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 I	I 年	3	新編数学 I (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学 I + A(数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式, 2 次関数, 図形と計量及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え, 論理的, 統合的・発展的, 体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では, 主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し, まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では, 思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では, 学習したことを振り返り, 問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ, 事象を数理的にとらえることで, 数学を身近に感じ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学Ⅰ 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ 学 期	第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数とグラフ	知 数と式や, 集合と命題, 2 次関数についての基本的な概念を理解しているとともに, 数式や事象, グラフを数学的に表現, 処理する技能を身につけている。 思 1 次不等式を事象の考察に帰着させたり, 集合の包含関係と命題の真偽を結びつけて捉えたり, 2 次関数の特徴をグラフと関連づけて考察するなど, 数式や事象を的確に表現している。 主 数式を多面的に捉えて, 処理しようしたり, 対偶や背理法を用いた証明方法を試したりと, 数学を活用しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
2 学 期	第3章 2次関数とグラフ 第4章 図形と計量 第5章 データの分析	知 2 次関数, 図形と計量, 及びデータの分析についての基本的な概念を理解しているとともに, グラフや図形, データを数学的に解釈したり, 表現, 処理したりする技能を身につけている。 思 2 次方程式, 不等式とグラフと関連づけて考察したり, 具体的な事象を三角比の問題として捉えたり, データのちらばりを数値化するなど, 数式を的確に表現している。 主 2 次関数のグラフと x 軸の関係を考察しようしたり, 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようしたり, 身近な事柄のデータを整理・分析しようとするなど, 数学を活用しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ・課題学習: 黄金比, 2次関数を用いた利益の予測正多角形と円周率, 偏差値 全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
3 学 期			
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学Ⅱ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学Ⅱ	Ⅰ年	Ⅰ	新編数学Ⅱ (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学Ⅱ+B+C(数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数および微分法と積分法の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学Ⅱ 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
3 学 期	第1章 式と証明	知 いろいろな式についての基本的な概念を理解しているとともに、数式を数学的に表現、処理する技能を身につけている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
	第2章 複素数と方程式	思 二項定理をパスカルの三角形と結び付けて考えたり、不等式の証明に実数の性質を用いて考察したりするなど、数式や事象を的確に表現している。 主 恒等式の係数を決定する際、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとしたり、組立除法を積極的に利用しようとするなど、数学を活用しようとしている。	・課題学習：パスカルの三角形の性質 全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 数学 A

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
数学 A	1 年	2	新編数学 A (数研出版)	チャート式 基礎からの 数学 I +A(数研出版)

科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
数学的な見方・考え方	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 家庭学習では、学習したことを振り返り、問題集の問題などに自主的に取り組みましょう【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、事象を数理的にとらえることで、数学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付けている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・小テスト	・授業中の発問 ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

数学 A 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	第1章 場合の数と確率	知 場合の数と確率についての基本的な概念を理解しているとともに、事象を数学的に表現、処理する技能を身につけている。 思 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを考察するなど、事象を数学的に表現している。 主 1 個のさいころを繰り返し投げの実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつなど、数学を活用しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。
2 学 期	第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質	知 場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念を理解しているとともに、事象や図形を数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。 思 事象の起こりやすさを考察したり、図形の性質を論理的に証明したりするなど、数式を的確に表現している。 主 不確実な事柄の判断に期待値を用いて比較したり、三角形や円の性質について興味・関心を持ったりするなど、数学を活用しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。
3 学 期	第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動	知 図形の性質、整数を中心とする数学的な要素についての基本的な概念を理解しているとともに、図形や数字を数学的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につけている。 思 図形の性質を論理的に証明したり、日常的な問題について 1 次不定方程式と関連付けて考察したりするなど、数式を的確に表現している。 主 三角形や円の性質について興味・関心を持ったり、整数に関する日常生活における具体的な事象について考察したりするなど、数学を活用しようとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。生徒の実態に応じて習熟度別授業を行います。		

指導と評価の年間指導計画 物理基礎

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
物理基礎	1 年	2	高等学校 新物理基礎 (第一学習社)	岡山県 物理学習実験書(上) (岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組ましましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近なエネルギーなど)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、身近な物理現象の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現 身近な物理現象に問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 身近な物理現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問	・観察実験レポート ・定期考査	・発表など、授業ノート ・課題への取り組み

物理基礎 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	(1) 物体の運動 とエネルギー (ア) 運動の表し 方 (イ) 様々な力とそ の働き (ウ) 力学的エネ ルギー	知 様々な力とその働きについて、基本的な概念や原 理・法則を理解し、それらの観察、実験などに関す る技能を身につけている。 思 様々な力とその働きについて、観察、実験などを 通して探究し、様々な力とその働きにおける規則 性や関係性を見いだして表現している。 主 様々な力とその働きの理解を目標に物理学に対 して主体的に関わり、見通しをもったり振り返った りするなど、科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習 活動(1~4)を行う。 実験1 運動の記録 実験2 斜面上の物体の運動 実験3 落体の運動 実験6 運動の法則 実験7 力学的エネルギーの保存
2 学 期	(2) 様々な物理 現象とエネ ルギーの利用 (ア) 波 (イ) 熱 (ウ) 電気 (エ) エネルギーと その利用 (オ) 物理学が拓く 世界	知 様々なエネルギーとその利用について、基本的な 概念や原理・法則を理解し、それらの観察、実験 などに関する技能を身につけている。 思 様々なエネルギーとその利用について、基本的な 概念や原理・法則を理解し、観察、実験などを通 して探究し、表現している。 主 様々なエネルギーとその利用についての理解を 目標に物理学に対して主体的に関わり、見通しを もったり振り返ったりするなど、科学的に探究しよ うとしている。	単元ごとに前述の多様な学 習活動(1~4)を行う。 実験8 比熱(比熱容量) 実験9 弦の定常波 実験10 気柱の共鳴 実験11 電気抵抗の測定 全体を通して、それぞれの 学習活動は単元ごとに3つ の観点について評価され る。
3 学 期			
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 生物基礎

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
生物基礎	1 年	2	高等学校 生物基礎 (第一学習社)	学校自作授業ノート リード Light ノート生物基礎(数研出版) ニューステージ新生物図表(浜島書店) 岡山県 生物の実習(岡山県高等学校理科協議会)

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
理科の見方・考え方	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【読解力】【自律の精神】 2 対話型の授業では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 観察・実験の授業では、課題意識を強く持ち、グループ内で協力して、観察・実験を通して考察ができるように主体的に取り組ましましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活(身近な環境問題など)を関連づけ、科学を身近に感じ、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	思考・判断・表現 生物や生物現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
主な評価方法	・定期考査 ・授業中の発問 ・実習書	・観察実験レポート ・発表や話し合いなどの活動 ・定期考査	・発表など, 授業ノート ・課題への取り組み ・小テスト

生物基礎 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	(1) 生物の特徴 (ア) 生物の特徴 (イ) 遺伝子とその働き	知 生物の特徴について, その特徴, 遺伝子とその働きを理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 思 生物の特徴について, 観察, 実験などを通して探究し, 多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 主 生物の特徴に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 実習1 光学顕微鏡の使用法 実習2 ミクロメーターの使用法 実習5 真核細胞と原核細胞の比較 実習23 酵素反応と温度 実習7 DNAの抽出 実習9 体細胞分裂 実習10 唾腺染色体
2 学 期	(2) ヒトの体の調節 (ア) 神経系と内分泌による調節 (イ) 免疫	知 ヒトの体の調節について, 神経系と内分泌系による調節, 免疫を理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。 思 ヒトの体の調節について, 観察, 実験などを通して探究し, 神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現している。 主 ヒトの体の調節に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 実習 体内環境の調節
3 学 期	(3) 生物の多様性と生態系 (ア) 植生と遷移 (イ) 生態系とその保全	知 生物の多様性と生態系について, 植生と遷移, 生態系とその保全を理解しているとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身につけている。また, 生態系の保全の重要性について認識している。 思 生物の多様性と生態系について, 観察, 実験などを通して探究し, 生態系における, 生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。 主 生物の多様性と生態系に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動(1~4)を行う。 実習 14 陽葉と陰葉の比較 実習 20 岡山県の植生分布と環境 全体を通して, それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 体育

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
体育	1 年	2	現代高等保健体育 (大修館書店)	ステップアップ高校スポーツ 2025 (大修館書店)

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
体育の見方・考え方	スポーツをその価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉える。また、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けて考える。		
主な学習活動	1 運動の合理的、計画的な実践や体育理論の学習を通して、知識や技能を高め、課題の解決に向けて取り組むことにより、運動のもつ特性や魅力に触れ、運動のもつ楽しさや喜びを深く味わいます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【創造力】 2 各種の運動を合理的に行なうことにより、体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力、生活に応じた運動の計画を立て、主体的に取り組むことができる能力を養います。【批判的・論理的思考力】【進取の精神】 3 運動における競争や協働の経験を通して、公正な態度や進んで規則を守りお互いに協力して責任を果たし、チームやグループの意志決定に参画するなどの態度を身につけます。また、健康安全を確保して運動することができる能力や態度を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】		
未来創造力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力
評価の観点及び評価規準	知識・技能 ・運動の特性に応じた行い方や運動の一般原則などの知識 ・競技会、発表会の仕方や審判の方法などの知識	思考力・判断力・表現力 ・自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できる思考力・判断力・表現力 ・思考・判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりして、相手に伝えたり表現したりする力	学びに向かう力・人間性 ・運動の楽しさや喜びを深く味わい、主体的に取り組む態度 ・運動の合理的、計画的な実践を通じて、多様性を尊重し、公正に取り組む、仲間と関わり協力する ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にする
主な評価方法	・知識理解度テスト ・授業状況の観察	・授業状況の観察 ・レポート	・授業状況の観察 ・レポート ・課題への取り組み

体育 年間指導計画

知:知識・技能
 思:思考・判断・表現
 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	オリエンテーション 集団行動 体ほぐし運動 体育理論 スポーツの文化的特性 や現代のスポーツの発展 陸上競技(走/跳/投) バドミントン/卓球	思 活動目標・規律などについて理解することができる。 主 整列・挨拶ができる。 主 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 知 スポーツの歴史, 文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解することができる。 思 それぞれの種目の特性を理解し, 自己の関心・意欲・能力・適性等に応じて種目を選択し自己に適した目標や課題を持ち, お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 主 健康面や安全面に配慮して, 取り組むことができる。	年間を通して『学習活動』 1、2、3を行い3つの観点について評価を行う。
2	体づくり運動 体育理論 スポーツの文化的特性 や現代のスポーツの特徴 バスケットボール ハンドボール	主 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。 知 スポーツの歴史, 文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解することができる。 知 個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化をつけて表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。 思 それぞれの種目の特性を理解し, 自己に適した目標や課題を持ち, お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 知 各種目の特性に応じて安定したボール・用具操作によって攻防することができる。 主 健康面や安全面に配慮して, 取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い 3つの観点について評価を行う。
3	体育理論 体づくり運動 バスケットボール バレーボール	知 スポーツの歴史, 文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解することができる。 主 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができる。 知 各種目の特性に応じて安定したボール・用具操作によって攻防することができる。 主 それぞれの種目の特性を理解し, 自己に適した目標や課題を持ち, お互いに協力し合って計画的に練習やゲームを行うことができる。 主 健康面や安全面に配慮して, 取り組むことができる。	『学習活動』1、2、3を行い 3つの観点について評価を行う。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 保健

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
保健	1 年	1	現代高等保健体育 (大修館書店)	図説 現代高等学校保健改訂版 (大修館書店)

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
見方・考え方	疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付ける。		
主な学習活動	1 現代社会のさまざまな健康問題について理解を深め、自らの健康の保持増進を図るために必要な知識・技術を身につけます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【創造力】 2 課題学習では、個人または仲間と協力しながら、変化する現代社会の健康問題について、自ら課題を見つけだし、自ら考え試行錯誤しながら主体的に取り組むことができる能力を養います。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 3 応急手当の実習では、日常的な応急手当や実習を通して心肺蘇生法について理解し、実践できる能力を養います。【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活を関連づけ、健康の大切さを認識し、自ら健康の保持増進に取り組む意欲を高めます。【自律の精神】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 健康・安全の意義を理解するとともに、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。	思考力・判断力・表現力 自他の心身の安全や健康に関する課題の解決を目指し、科学的に考え、選択すべき行動を適切に判断している。	主体的に学習に取り組む態度 日常生活や社会との関連を図りながら、自他の心身の安全や健康に関心を持ち、健康で安全な生活を実践するために、自ら進んで学習に取り組もうとする。
主な評価方法	・授業状況の観察 ・レポート ・定期考査	・発表 ・レポート ・定期考査	・授業状況の観察 ・課題への取り組み

保健 年間指導計画

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 主: 主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	I 現代社会と健康 ア健康の考え方 ・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた イ健康の保持増進と疾病の予防 ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	知 さまざまな健康の考え方について、正しい情報を見極め、その特徴とその働きを理解しているとともに、心身の健康、社会の安全などに対して理解したことを言ったり書いたりしている。 思 生活習慣における、さまざまな疾病に対し探究を深め、適切な対策や行動が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 主 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 講義型授業や課題型学習(個人・グループで協働し準備・レポート作成・発表を行う)を行い、3つの観点から評価を行う。 I C Tを活用する。 (クロームブック・ビデオ)
2	ウ精神の健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防と回復 エ現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・意思決定と行動選択 ・健康に関する環境づくり オ交通安全 ・交通事故の現状 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	知 現代の健康問題について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 思 健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 主 健康安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 講義型授業や課題型学習(個人・グループで協働し準備・レポート作成・発表を行う)を行い、3つの観点から評価を行う。 I C Tを活用する。 (クロームブック・ビデオ)
3	カ応急手当 ・応急手当の意義 ・心肺蘇生法	知 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 思 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 主 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1～4)を行う。 講義型授業や課題型学習 I C Tを活用する。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 音楽Ⅰ

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
音楽Ⅰ	1年	2	音楽Ⅰ Tutti+ (教育出版社)	

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
音楽的の見方・考え方	感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、音楽の文化的・歴史的背景などと関連付けること。		
主な学習活動	1 表現の活動では、演奏に関する基礎的な知識や技能を身に着け、音楽表現を工夫しましょう。【創造力】【探究する力】【表現力】 2 鑑賞の活動では、感じ取った表現の工夫を自分の言葉で表現し、自分とは異なる友人のものの見方や考え方に触れましょう。【読解力】【友愛の精神】 3 授業で学習した内容を日常生活と関連づけて、音楽文化に親しみ、さらに感性を高めていきましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 日常生活の音楽の効用や音楽の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、作品のよさや美しさを創造的に味わっている。 創造的な演奏表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	思考・判断・表現 楽曲のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	主体的に学習に取り組む態度 音楽の創造的活動の喜びを味わい、音楽の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
主な評価方法	・楽曲に対する理解 ・鑑賞の記述 ・ペーパーテスト	・合唱曲の演奏 ・器楽アンサンブル ・練習への取り組み ・実技の発表 ・作曲への取り組み	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・進捗状況の観察

音楽Ⅰ 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	オリエンテーション (1) 校歌 ＜実技・歌唱＞ (2) 楽曲鑑賞 ＜鑑賞・理論＞ (3) 器楽アンサンブル ＜実技・器楽＞	主音楽の学習の概要を知る。 主倉敷南高生としての自覚を持ち、自校を愛する心情を育てる。 知楽曲の特徴を理解し、音楽を構成する様々な要素や作曲の創意工夫について知覚する。 思音色や速度、強弱を工夫して演奏する。 知楽器の各部の名称や奏法について理解する。	【知る】歌詞および曲想に関心を持つ。 【表現】曲想の変化を感じ取って、歌唱の表現に生かす。 【知る】楽曲の特徴を理解する。 【鑑賞】音楽を構成する様々な要素や作曲の創意工夫について、考える。 【知る】楽器の各部の名称や奏法について学ぶ。 【表現】音色や速度、強弱を工夫するために、基礎的な知識・技能を学び、演奏する。
2	(4) ミュージカル ＜鑑賞＞ (5) 器楽合奏 ＜実技・器楽＞ (6) 作曲 ＜創作＞	知ミュージカルの表現形態についての特徴、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 思登場人物の心情を表す音楽の創意工夫について、音楽的な特徴を踏まえて、自分の言葉で述べるができる。 知器楽演奏に関わる知識や技能を得る。 主器楽の楽しさを知る。 知旋律を作る事を体験する。創作するのに必要な手法を理解する。	【知る】ミュージカルの表現形態についての特徴、文化的・歴史的背景との関わりを学ぶ。 【鑑賞】登場人物の心情を表す音楽の創意工夫について考える。 【知る】楽器の各部の名称や奏法について学ぶ。 【表現】グループで発表する。演奏を客観的に見つめ、より良い音楽表現を探究する。 【知る】歌詞との関連、反復、変化、対照などの手法を学び、創作活動に生かす。
3	(7) オペラ ＜鑑賞＞ (8) 合唱 ＜実技・歌唱＞	知オペラの表現形態についての特徴、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。 思登場人物の心情を表す音楽の創意工夫について、音楽的な特徴を踏まえて、自分の言葉で述べるができる。 思合唱における美しいハーモニーを感じ取ることができる。 主合唱でハーモニーを作る楽しさ・美しさを感じ取る。	【知る】物語の内容や有名なアリアについて学習する。 【鑑賞】登場人物の心情を表す音楽の創意工夫について考える。 【知る】歌詞および曲想に関心を持つ。 【表現】合唱における美しいハーモニーを、演奏を通して学ぶ。
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		

指導と評価の年間指導計画 美術 I

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
美術 I	I 年	2	高校生の美術 I (日本文教出版)	

科目の目標	美術の幅広い学習活動として、造形的なものの見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成する事を目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す力を養う。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める力を養う。 (3) 主体的に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
造形的の見方・考え方	感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。		
主な学習活動	1 表現の活動では、観察や想像、条件から自分の言葉で主題をつくり、図や立体、言葉で構想し、表現を工夫します。【創造力】【探究する力】 2 鑑賞の活動では、感じ取った表現の工夫を自分の言葉で書いて発表し、友人の発表を聞き、自分とは異なるものの見方や考え方に触れます。【表現力】【友愛の精神】 3 授業で学習した内容を日常の生活と関連付けて、美術文化に親しみ、探究しながら感性を高めていきましょう。【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
主な評価方法	・作品 ・鑑賞のワークシート ・発表の内容	・スケッチやメモ ・発表や話し合いの経過 ・発想や構想のワークシート	・ワークシート への記入状況 ・振り返りシートの内容 ・課題への取り組みや授業中の質問

美術Ⅰ 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
Ⅰ 学 期	(1) 〈絵画・彫刻〉 (ア) 観察による鉛筆表現 (イ) 油彩模写表現と作品の鑑賞	知・対象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて生かして工夫し表している。 思・形体、色彩、構成、質感、空間について構想や表現を通して考え、主題を生成し、表現方法を工夫して表している。表現を通して作品全体のイメージや作風、様式について理解を深め、よさを感じ取っている。 主・対象への観察や表現、作品について調べることに主体的に関わり、自分の学びとして振り返ったりするなど、創造的に取り組もうとしている。	単元ごとに前述の主な学習活動を行う。 (ア)・スケッチ、主題生成と構想 ・鉛筆表現 (イ)・作品選択と作品調べ ・油彩の手順理解と混色、タッチ、重色の学習 ・模写を通しての表現の工夫への理解とよさの発見 ・作品発表
2 学 期	(2) 〈絵画・彫刻〉 (ア)油彩構想表現 (3) 〈デザイン〉 (ア)商品の鑑賞 (イ)パッケージデザイン（表現） (ウ)建築の鑑賞	知・主題にあった表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表現している。 思・自己を見つめ、感じ取った事や考えたことから主題を生成し、主題に応じて表現形式について考え、創造的な表現の構想を練っている。 主・主体的に絵画表現の活動に取り組もうとしている。 知・分析から造形要素を発見し、働きを考えて全体のイメージを捉えることを理解している。 思・目的や機能との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、表現意図を考察し、機能と造形的工夫について、見方や感じ方を深めている。 ・目的や条件を考えて主題をつくり、デザインの機能や効果をj考えて構想を練っている。 主・造形的なよさやデザインの意図と創意工夫、働きについて考え、価値意識をもって地域の文化に対する見方や感じ方を深めようとする。	単元ごとに前述の多様な学習活動を行う。 (ア)・発想と主題の生成 ・構想 ・油彩表現 (イ)・プロダクトデザインの鑑賞 (ウ)・既成のパッケージの分析 ・主題の生成と構想 ・レンダリングでの提案 (エ)・地域の建築物の鑑賞
3 学 期	(3) 〈映像メディア表現〉 (ア)動画表現	知・視点、動きなどの映像表現の視覚的要素の働きについて理解し、主題にあった表現方法工夫して創造的に表している。 思・目的を考えて主題を生成し、メディアの特性をいかして構想し、効果的に表現しようとしている。 主・主体的に発想や構想をし、友人と協力して制作に取り組んでいる。	単元ごとに前述の多様な学習活動を行う。 (ア)・映像メディア表現の理解 ・発想と主題の生成 ・構想 ・動画撮影と編集 ・発表 全体を通して、それぞれの学習活動は単元ごとに3つの観点について評価される。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 書道 I

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
書道 I	I 年	2	書 I (光村図書出版)	

科目の目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを次のように育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
書に関する見方・考え方	書の特質に即して物事を捉える視点や考え方をいい。感性を働かせ、書を、書を構成する要素やそれらが相互に関連する働きの視点で捉え、書かれた言葉や、歴史的背景、生活や社会、諸文化などとの関わりから、書の表現の意味や価値を見出すこと。		
主な学習活動	1 講義型の授業場面では、主体的な学びとなるようプリントを自分なりに整理し、まとめましょう。 【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 対話型の授業場面では、思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。 【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 実習・実技型の授業場面では、課題意識を強く持ちながらグループ内で協力し、実習や実技を通して自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫できるよう主体的に取り組みましょう。 【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】【創造力】 4 毎時の日常書(ボールペン)、授業プリントの感想に対してのコメント、自分の作品や他の人の作品等から学習したことを振り返ることで、感性を高め、表現と鑑賞の能力を伸ばし、効果的な表現の技能を身につけましょう。 【読解力】【進取の精神】【表現力】 5 授業で学習した内容と日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化を関連づけ、書を身近に感じ、書のよさや美しさを創造的に味わいましょう。 【社会で生きる知識・技能】【創造力】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	思考・判断・表現 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
主な評価方法	【知識】 意見交換、プリント感想 【技能】 作品制作	・作品制作過程でのワークシート(表現・構想 作品分析) ・発表や話し合いなどの活動 ・作品完成時の感想と自己評価	・意見交換の状況 ・構想・工夫の状況 ・作品への取り組み状況

書道Ⅰ 年間指導計画

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	(1) 漢字の書 (楷書・篆刻) ア 臨書・鑑賞 イ 創作	知 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 思 古典の書風に即した用筆・運筆、字形の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 主 漢字の書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 ・3つの古典の臨書 (九成宮醴泉銘・孔子廟堂碑・牛橛造像記)の臨書 ・5つの古典の鑑賞 ・古典の書風を生かした扇子作品 ・篆刻(朱文印・白文印)
2	(2) 仮名の書 ア 単体 イ 連綿 ウ 臨書・鑑賞 エ 創作	知 用具・用材の特徴と表現効果の関わり、線質や書風と用筆・運筆の関わりについて理解している。古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 思 古典の書風に即した用筆・運筆、字形の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 主 仮名の書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 ・いろは歌 ・連綿 ・高野切第三種の臨書 ・高野切第三首の書風を生かした百人一首作品
3	(3) 漢字の書 (行書) ア 臨書・鑑賞	知 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。古典に基づく基本的な用筆・運筆、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 思 古典の書風に即した用筆・運筆、字形の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 主 漢字の書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・「蘭亭序」の臨書
	(4) 漢字仮名交じりの書 ア 創作	知 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 思 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 主 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1～5)を行う。 ・全紙3枚分による合作
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 英語コミュニケーションⅠ（新課程）

科目	年次	単位数	教科書（出版社）	副教材（出版社）
英語コミュニケーションⅠ	1年	4	BLUE MARBLE English CommunicationⅠ （数研出版）	BLUE MARBLE English CommunicationⅠワークブック（数研出版）
科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、次の(1)(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、(3)に示す資質・能力を育成する。 (1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え等の概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることがでける力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。			
英語の見方・考え方	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築する。			
主な学習活動	1 授業では、主体的な学びとなるようノートやプリントを自分なりに整理し、まとめます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】【読解力】 2 授業ではペアワーク・グループワークなどに積極的に取り組むとともに、スピーチやディベートなどでは他の意見を受容し、自らも論理的に思考し、積極的に考えを表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 3 授業と同様に家庭学習も大切にしましょう。学習したことを振り返り、読解問題などに自主的に取り組みましょう。【読解力】【進取の精神】 4 授業で学習した内容と日常生活（身近な社会問題など）を関連づけ、解決の糸口を考察するなど、主体的に学ぶ意欲を高めましょう。【グローバルな視点】【キャリア設計力】			
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来を創る力 自律、友愛、進取の精神、グローバルな視点、キャリア設計力	
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
評価方法	・定期考査 ・授業中の発問	・発表やペアワーク活動 ・定期考査	・授業の観察 ・ノート、課題、小テスト	

英語コミュニケーションⅠ 年間指導計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動・特徴的な活動
1	1課 学校生活 デジタル時代における友達作り 2課 科学・社会 未来の万博の役割 3課 異文化理解 日本の伝統話芸 4課 社会・公共 人々の行動を変える 仕掛け	知 デジタル社会における人々の行動, 異文化理解についての英文を読み, その内容を理解するとともに, 事実や自分の考えを整理して伝えたり, 相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 思 デジタル社会における人々の行動, 異文化理解について概要や要点の理解を深め, 自分の意見を話したり書いたりしている。 主 本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとするとともに, 学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 1課 文の要素 2課 現在[過去]完了形 3課 助動詞を含む受動態 4課 使役動詞
2	5課 教育・平和 ルワンダ大虐殺 6課 歴史・文化 「測る」という行為から見た人類の歴史 7課 動物・科学 野生動物の秘密 8課 環境・生活 オーバーツーリズム	知 平和, 歴史・文化, 科学, 環境についての英文を読み, その内容を理解するとともに, 事実や自分の考えを整理して伝えたり, 相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 思 平和, 歴史・文化, 科学, 環境について概要や要点の理解を深め, 自分の意見を話したり書いたりしている。 主 本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとするとともに, 学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 5課 知覚動詞 6課 関係代名詞 7課 関係副詞 8課 仮定法過去 仮定法過去完了
3	9課 情報・社会 玉石混淆の膨大な情報から真実にたどりつくためにすべきこと 10課 日本文化 「禅」の精神と現代の世界に与えた影響	知 情報社会, 日本文化についての英文を読み, その内容を理解するとともに, 事実や自分の考えを整理して伝えたり, 相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 思 情報社会, 日本文化について概要や要点の理解を深め, 自分の意見を話したり書いたりしている。 主 本文の内容を読み取り, 概要や要点を把握しようとするとともに, 学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり書いたりしようとしている。	单元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 9課 10課 復習的な項目を本文で扱う。 全体を通して, それぞれの学習活動は单元ごとに3つの観点について評価される。
状況によって計画を変更する場合があります。			

指導と評価の年間指導計画 論理・表現 I

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
論理・表現 I	1 年	2	Genius English Logic and Expression I (大修館)	Genius 総合英語 English Grammar in 27 Lessons (大修館) Genius 総合英語(大修館)

科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指す。 (1) 話すこと[やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。 (2) 話すこと[発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたこと活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。
主な学習活動	1 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」活動の基礎となる文法事項や語彙、表現を学習するとともに、それらを目的や場面、状況に応じて活用できるようにしよう。【社会で生きる知識・技能】【表現力】【自律の精神】 2 設定されたテーマ・課題に対して、ペアワーク・グループワークを通して、互いに質問や意見交換を行うことで内容の理解を深化させるとともに、聞き手や目的を意識して簡潔に話したり、書

	いたりする活動に積極的に取り組もう。【批判的・論理的思考力】【表現力】			
	3 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えを時系列や重要度の高い順に整理したり, 比較を用いたり, 具体例や統計資料を用いたりして発表しよう。【読解力】【批判的・論理的思考力】			
	4 授業で学習した内容と日常生活・社会問題などを関連づけ, 自ら学ぶ意欲を高めましょう。学習したことを振り返り, ワークブック・参考書などの演習問題にも自主的に取り組もう。【創造力】【進取の精神】			
未来創造力		知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能, 読解力	探究する力 批判的・論理的思考力, 創造力, 表現力	未来へ向かう力 自律の精神, 友愛の精神, 進取の精神
評価の観点及び 評価基準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	話すこと やり取り	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 情報や考え, 気持ちなどを, 論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 情報や考え, 気持ちなどを, 話して伝え合うやり取りを続けたり, 論理性に注意して伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 話し手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。
	話すこと 発表	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題などについて, 情報や考え, 気持ちなどを, 論理性に注意して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 情報や考え, 気持ちなどを, 論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いて話そうとしている。
	書くこと	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題などについて, 情報や考え, 気持ちなどを, 論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題などについて, 情報や考え, 気持ちなどを, 論理性に注意して書いて伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 読み手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語で書かれたことを書こうとしている。
主な評価方法		・小テスト ・定期考査	・授業状況の観察 ・定期考査	・授業状況の観察 ・ノート・課題等への取り組み ・課題考査

論理・表現Ⅰ 年間指導計画

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1	Unit1 自己紹介 Unit2 家族・友人紹介 Unit3 学校生活の紹介 Unit4 ハイキングの計画 Unit5 Show&Tell	知自己紹介などの、比較的平易な内容の Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、辞書や説明があれば、概要を把握できる。 思話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、意見交換やペア・グループワークなどを通じて、自らの考えを表現することができる。 主各レッスンの内容について主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ○基本表現を理解する。 ○参考書を活用して文法及び表現への理解を深める。
2	Unit 6 ルールブック作り Unit7 後輩へのアドバイス Unit8 おすすめスポットの案内 Unit9 健康問題の解消策の提言 Unit10 進路についての意見交換 Unit11 校則についての意見交換 Unit12 学校行事の報告 Unit13 交通手段についての意見交換 Unit14 尊敬する人の紹介 Unit15 ボランティア活動	知身の回りの話題についての Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、辞書や説明があれば、概要を把握できる。 思話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、意見交換やペア・グループワークなどを通じて、自らの考えを表現することができる。 主各レッスンの内容について主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ○同上
3	Unit16 水/食糧資源問題についての意見交換 Unit17 過去の印象的な出来事についての報告 Unit18 環境問題についての意見文 Unit19 科学技術の発達についての意見交換 Unit20 日本文化の紹介記事	知日本内外の幅広い話題についての Listening や Reading を通じてターゲットとなる文法事項を把握するとともに、辞書や説明があれば、概要を把握できる。 思話題について概要をまとめ、自分の考えを記述するとともに、上記の活動に加えてスピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど多様な活動を通じて、自らの考えを表現し、他の考えを受容することができる。 主各レッスンの内容や提示されたテーマについて主体的に内容を捉えるとともに、自分との関連や今後の行動について深く思考し、英語の運用に活かすことができる。	単元ごとに前述の多様な学習活動(1~4)を行う。 ○同上

状況によって計画を変更する場合があります。

指導と評価の年間指導計画 家庭基礎

科目	年次	単位数	教科書(出版社)	副教材(出版社)
家庭基礎	1年	2	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	家庭基礎 自立・共生・創造 完全準拠学習ノート (東京書籍) 2025生活学 Navi 資料+成分表(実教出版)

科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。		
生活の営みに係る見方・考え方	家庭科は、人の誕生から、乳幼児期、青年期、壮年期、高齢期までの生活の営みを見通し、生涯にわたって、生活の主体として自立し、かつ人と協働して共に生きる力を身につけることを目指している。		
主な学習活動	1 講義型の授業では、主体的な学びとなるようプリントに自分の考えをまとめます。単元の復習として、学習ノートを活用して学習を深めます。【社会で生きる知識・技能】【自律の精神】 2 対話型の授業では、調べ学習のまとめ・発表を通して収集した情報を客観的に判断し、自らの考えを論理的に表現します。【批判的・論理的思考力】【表現力】 3 実験・実習型の授業では、科学的根拠を元に身の回りの生活に必要な知識と技能を知識とつなげて生活の中で活用する力を育てます。【社会で生きる知識・技能】【創造力】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる生活事象について、基礎的な概念や社会状況を理解し、知識を身に付けている。 家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる生活事象について、基礎的な技術を科学的に理解し日常生活に応用する技術を身に付けている。	家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる事象について、持続可能な社会の実現を意識しながら課題を見いだし、その解決に向けて思考を深めることができる。	家族・家庭、衣食住、消費・環境などに係わる生活事象について関心を持ち、実践的・体験的な学習活動等を通して、他者と協力しながら積極的に学習に取り組むことができる。
主な評価方法	・学習ノート ・定期考査	・定期考査 ・各分野の製作物 ・実習作品	・定期考査 ・ホームプロジェクト ・各分野の製作物
			・授業状況の観察 ・学習ノート ・課題への取り組み

家庭基礎 年間指導計画

[知]:知識・技能 [思]:思考・判断・表現 [主]:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
1 学 期	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家 庭クラブ活動 A 人の一生と家族・家庭お よび福祉 (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・ 家庭 (3) 子供の生活と保育 (4) 高齢期の生活と福祉 (5) 共生社会と福祉	[知]生涯発達の視点で人の一生について理 解すると共に、青年期、乳幼児期、高齢期 の課題がわかり、家族・家庭を支える福祉 や社会的支援について理解している。 [思]生涯を見通した自己の生活について主 体的に考えると共にそれぞれのライフステ ージごとの課題を解決する力を身につけ ている。 [主]様々な人々と協働し、よりよい社会の構 築にむけて、課題解決に主体的に取り組 むとしている。	单元ごとに前述の多様な学 習活動を行う。 実習1ライフプランの設計 実習2民法について考える 実習3子供に関する新聞作り 実習4高齢者介護について ロールプレイング 実習5共生社会について考 える
2 学 期	B 衣食住の生活の自立と設 計 (1) 衣生活と健康 (2) 食生活と健康 (3) 住生活と住環境	[知]ライフステージに応じた被服の機能、食 生活、住生活の特徴について理解してい る。 [思]食生活、衣生活、住生活について課題を 見つけ、その解決策を構想し、実践を評 価・改善し、考察したことを根拠に基づい て論理的に表現することができる。 [主]様々な人々と協働し、よりよい衣生活・食 生活・住生活について、課題の解決に主 体的に取り組み、生活の質の向上に向け て学んだことを実践しようとしている。	单元ごとに前述の多様な学 習活動を行う。 実習6基礎縫いとその応用 実習7栄養バランスを考えた 献立作り 実習8 調理実習 実習9快適な住環境につい て最新の情報を収集 しまとめてプレゼンテ ーションをする
3 学 期	C 持続可能な消費生活・環 境 (1) 生活における経済の計 画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタ イルと環境	[知]消費者の権利と責任を自覚して行動で きるよう消費生活の現状と課題、消費行動 における意志決定や契約の重要性、消費者 保護の仕組みについて理解する。 [思]経済の管理や計画の重要性について、 自分のライフステージや社会保障制度など に関連づけて理解し、まとめることができる。 [主]様々な人々と協働し、よりよい社会の構築 に向けて、生涯の生活設計について課題を 解決するとともに自分や家族、地域の生活 の充実向上を図ろうとしている。	单元ごとに前述の多様な学 習活動を行う。 実習10生涯を見通したマネ ーゲーム

状況によって計画を変更する場合があります。

総合的な探究の時間（Minamix）Ⅰ 年次 指導と評価の年間指導計画

目標	自ら設定した課題を、仲間と協働しながら探究し、課題発見・解決へのアプローチ方法を身につける学び、社会と自らの生き方を関連づけて考え、自立的に自身の進路を拓く学びを進め、探究で繋がる学びで、知り、深く考え、未来を創るために行動する志と力「未来創造力」を育む。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を身につける (3) 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新しい価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。		
探究の見方・考え方	各教科・科目等における見方・考え方を総合的・統一的に活用して、後半で複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の在り方生き方を問い続けるという総合的な探究の時間の特質に応じた見方・考え方。		
主な学習活動	・「マチプロ」 地域社会とつながり、本物から学ぶ活動です。倉敷再発見フィールドワーク、ラーニングカフェ 【創造力】【社会で生きる知識・技能】【友愛の精神】 ・「わたしのキャリア構想」 学習したことをもとに思考や判断の結果や経緯など自らの考えを根拠に基づいて表現しましょう。【批判的・論理的思考力】【表現力】【進取の精神】 ・「Minamix ゼミ」 身近な課題が SDGs課題とつながっていることを知り、グローバルな視点から調査・研究をします。グループ内で協力して、考察ができるように主体的に取り組ましましょう。【創造力】【読解力】【批判的・論理的思考力】【友愛の精神】 ・「進路探究」 職業や大学での学びについて知り、学問に対する関心を深めます。【進取の精神】 ・各教科で学習した内容と日常生活を関連づけ、課題意識を持ち、自ら学ぶ意欲を高めましょう。【社会で生きる知識・技能】【創造力】【進取の精神】		
未来創造力	知の基盤となる力 社会で生きる知識・技能、読解力	探究する力 批判的・論理的思考力、創造力、表現力	未来へ向かう力 自律の精神、友愛の精神、進取の精神
評価の観点及び評価規準	知識・技能 ・課題を発見し解決するために必要な知識・技能	思考・判断・表現 ・探究を深めるための思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度 ・自らの学習を調整しながら主体的・協働的に取り組もうとする態度
	・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	・実社会や実生活と自己との関わり方から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	・探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。
主な評価方法	・ワークシート・レポート等の成果物 ・自己評価・相互評価	・ワークシート・レポート・スライド等の成果物 ・発表や話し合い等の活動の観察 ・自己評価・相互評価	・発表や話し合い等の活動の観察 ・振り返りワークシート ・課題の内容、提出状況 ・自己評価・相互評価

総合的な探究の時間 (Minamix) I 年次 年間指導計画

[知]:知識・技能 [思]:思考・判断・表現 [主]:主体的に学習に取り組む態度

学期	学習内容	学習の到達目標	学習活動・特徴的な活動
I 学 期	Minamix スタートアッププログラム マチプロ	[知]地域や社会の人,もの,ことに関わる探究の過程において,課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに,地域や社会の特徴やよさに気づき,それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。 [思]地域や社会の人,もの,ことと自分自身との関わりから問いを見だし,その解決に向けて仮説を立てたり,情報をもとに分析したりする力を身に付けるとともに,論理的にまとめ,表現する力を身につけている。 [主]地域や社会の人,もの,ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに,持続可能な社会を実現するために自らの学びを深め,将来,社会に貢献しようとしている。	・講演会「高校生活を始めるにあたって」 ・「マチプロ」レクチャー ・倉敷再発見フィールドワーク ・異年次交流 ・ラーニングカフェ
1 ・ 2 学 期	自己実現に向けた進路探究 自己表現	[知]自らの進路・生き方に関わる様々な情報・知識を身につけ,自らの進路や生き方を関連づけて理解すると共に,自己の進路実現に必要な技能を身につけている。 [思]現代社会や地域の諸課題と関連づけて,自らの進路・生き方について課題を設定して多面的・多角的に考察し,的確に表現することができている。 [主]自己のあり方や将来の進路・生き方に関して積極的に考えると共に,学習に対する意欲を高め,創造的・実践的な態度を身につけようとしている。	・学問・職業研究 ・学部学科研究 ・SDGsについて学ぶ ・「Minamix ゼミ」入門探究のサイクルを学ぶ。課題の設定、情報収集、考察、まとめ・発表を行う。 ・2年ポスターセッション参加
2 ・ 3 学 期	課題解決探究活動 成果のまとめ	[知]持続可能な社会の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解するとともに,調査活動を,目的や対象に応じて適切に実施している。 [思]探究の過程において,設定した課題の解決に向けて仮説を立て,必要な情報の収集し,事実や関係を整理して比較,分析するとともに,目的や意図に応じて論理的に表現している。 [主]探究を通して,多様な意見を尊重し,協働的に課題を解決しようとしている。自己の在り方生き方を考え,持続可能な社会の形成者として貢献しようとしている。	・「Minamix ゼミ」テーマ研究グループ,テーマ決定 ・ルーブリック評価 ・キャリアパスポート
備考	状況によって計画を変更する場合があります。		